

研究種目： 基盤研究(C)
研究期間： 2007 ～ 2010
課題番号： 19530750
研究課題名(和文) 大学院の財政基盤の日米比較

研究課題名(英文) Comparative Study on Finance of Graduate Education in Japan and the US

研究代表者

阿曾沼 明裕 (Akihiro Asonuma)
名古屋大学・大学院教育発達科学研究科・准教授
研究者番号：80261759

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育社会学

キーワード：大学院、財政基盤、研究大学、日米比較

1. 研究計画の概要

本研究は、日本と米国の大学院の財政基盤を比較分析することを目的とする。両国は大学院制度が異なるし、比較のための枠組もない状況である。とりわけ、中央集権的に規格が定められていない米国の大学院の財政基盤は極めて多様であり、分野によっても、大学のレベルによっても大きく異なるものと思われる。そこで、まずは米国の大学院の財政基盤を明らかにすることからはじめて、米国の大学院の財政的基盤にどのような構造的なパターンがあるのか、その多様なパターンの背景と要因、その多様性がもたらす利点や問題点、などを探る。多様なパターンを抽出しモデル化し、そこで得られた多様性を分析するための枠組を使いつつ日米の大学院の財政基盤の比較分析を行う。

2. 研究の進捗状況

2007 年度には、大学院の財政に関する文献の整理とレビュー、分析枠組みの検討、個別大学のHPからの大学情報の収集、米国の研究大学への訪問調査を行った。文献整理とレビューでは、大学院の活動を他と分けて考えることが困難であり、大学院教育に限定した財政基盤の検討はほとんど無いため高等教育財政全般にわたる検討となった。訪問調査は、パイロット調査的に、米国の研究大学の代表的な2校(スタンフォード大学、カリフォルニア大学バークレー校)に訪問し、幾つかのスクール(日本で言えば学部、研究科)のディーンや副ディーンにインタビューを行い、大学院教育の財源にどのようなパターンがあるのか検討を行った。

2008 年度には、前年度に試験的に行った

米国の研究大学への訪問調査をさらに本格的に行った。対象としたのは米国西海岸の研究大学であるワシントン大学であり、グラジュエート・スクール、文理カレッジ、ビジネス・スクールに訪問し、その財政基盤についてインタビューに調査した。また、米国の大学院の財政基盤についての歴史的な分析を進めるとともに、とくに財政基盤を考える上で大学院の組織構造に対する認識が必要であるとの判断が強まったため、グラジュエート・スクールを中心とする大学院組織の構造を分析し、学会発表や論文発表を行った。

2009 年度には、米国の大学院の財務についてこれまで収集した資料の検討を進めるとともに、引き続き歴史学的な検討、日本の大学院の財政・財務の分析のための資料収集・整理を行った。さらに、前年度のグラジュエート・スクールを中心とする大学院組織に対する分析に加えて、教員組織と教育組織の関係など組織的な側面の分析を行い、論稿を公表した。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

大学院の財政基盤の日米比較のための分析枠組みの検討がまだ不十分であり、やや遅れている。また、大学院の組織的な側面を重視したため、そちらの研究成果は出たが、財政的基盤についての分析とその成果公表がやや遅れている。

4. 今後の研究の推進方策

2010 年度は、引き続き日米の大学院の財政・財務に関わるデータや資料の収集整理に努めるとともに(文献及び訪問調査によつ

て)、分析枠組みの構築を早急に行い、日米比較分析によって、両国の大学院の財務・財政の構造的なパターンを明らかにする。また、これまで十分検討してこなかった大学院生への支援についても、財務データの収集整理、インタビューなどによって、日米比較を行い、多角的に大学院の財政・財務の比較分析を行う。最後に、本研究の総括を行い、それらの知見をベースに、日本の大学院の財政基盤の構造的な問題点を提起し、今後の変化の方向をさぐる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 8 件)

- ① 阿曾沼明裕、米国における大学院の財政基盤の多様性、高等教育研究 (日本高等教育学会)、第 10 集、195-216 頁、2007 年、査読あり
- ② 阿曾沼明裕、大学ファンディング、変貌する日本の大学教授職 (有本章編著、玉川大学出版部)、81-110 頁、2008 年、査読なし
- ③ 阿曾沼明裕、米国研究大学における大学院の組織的基盤、戦略的研究プロジェクトシリーズ 1 (広島大学高等教育研究開発センター編)、271-289 頁、2009 年、査読なし
- ④ 阿曾沼明裕、曖昧な Ed. D.、高等教育マネジメント (名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻高等教育マネジメント分野)、第 3 号、102-106 頁、2009 年、査読なし
- ⑤ 阿曾沼明裕、大学院の財政基盤の現状と課題、高等教育研究叢書 (広島大学高等教育研究開発センター)、第 106 号、39-45 頁、2009 年、査読なし
- ⑥ 阿曾沼明裕、国立大学ファンディング—1990 年代以降の変化と位置付け—、国立大学財務・経営センター研究報告、第 11 号、86-104 頁、2009 年、査読なし
- ⑦ 阿曾沼明裕、米国研究大学における大学院管理、大学論集 (広島大学高等教育研究開発センター)、第 40 集、107-125 頁、2009 年、査読あり
- ⑧ 阿曾沼明裕、米国研究大学における大学院組織①学位とスクールの関係、IDE 現代の高等教育、518、68-72 頁、2009 年、査読なし

[学会発表] (計 3 件)

- ① 阿曾沼明裕、米国の研究大学における大学院の組織的基盤、日本高等教育学会、2007 年 5 月 27 日、名古屋大学
- ② 阿曾沼明裕、米国研究大学における大学

院の組織的基盤—スクールは専門職学位と研究学位とをいかに運営するのか—、日本高等教育学会、2008 年 5 月 24 日、東北大学

- ③ 阿曾沼明裕、大学院の財政基盤の現状と課題—米国の研究大学を中心に—、広島大学高等教育研究開発センター第 36 回研究員集会「我が国大学院の現状と課題」、2008 年 10 月 18 日、広島大学